



国際ロータリー第2840地区 2016-2017 年度

ガバナー月信

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

RID2840 / GUNMA JAPAN / 2016-2017

To Rotary club presidents and secretaries

THE ROTARY FOUNDATION



YEARS OF DOING GOOD IN THE WORLD



人類に
奉仕する
ロータリー

青少年奉仕月間



2017. **5**.1
Vol. 11



目次

平成 29 年 5 月号

ガバナーメッセージ	1
ガバナーノミネーデジグネート決定のお知らせ	4
新会員セミナー	6
インターアクト海外研修報告	7
第6分区IM	8
ロータリー財団委員会報告	9
会長エレクト・次年度幹事研修セミナー	11
安中RC クラブ便り（寄稿文）	13
米山記念館だより	14
新入会員紹介	15
訃報	16
文庫通信	17
出席報告	18
表紙の写真 世界遺産「富岡製糸場」	19
ガバナー事務所よりお願い	20



国際ロータリー第 2840 地区 ガバナー事務所

〒371-0855 群馬県前橋市問屋町2-2 前橋問屋センター会館 1F

TEL : 027-212-2840 FAX : 027-212-2841 email : toyokawa@rid2840.jp

「青少年奉仕月間 (Youth Services Month)」に因んで

国際ロータリー第 2840 地区ガバナー 豊川 一男

国際ロータリー第 2840 地区 2016-2017 年度地区大会は、RI 会長代理 渡辺治夫様のご指導の元、2017 年 4 月 15 日・16 日に「ベシア文化ホール」にて開催いたしました。地区内 46 クラブのロータリアンの皆様、地区外から 15 地区 40 名のお客様をお迎えして、成功裏に収めることが出来ました。

これは会員皆様のご協力とご支援の賜であり、感謝に堪えません。心より御礼申し上げます。

さて、5 月は奉仕の第 5 部門「青少年奉仕」月間です。

青少年奉仕部門は、2010 年規定審議会の『「第 5 部門」「青少年奉仕」を加える件 (制定案 10-87)』で「新世代奉仕」に修正採択され 2013 年規定審議会で「新世代奉仕」から「青少年奉仕」に名称変更となり、現在、国際ロータリー奉仕の第 5 部門「青少年奉仕」になりました。

「青少年奉仕」部門では、インターアクト・ローターアクト・RYLA・青少年交換の各プログラムが実施されています。12 歳から 30 歳までの若人を対象に年齢別・プログラム別にテーマを設ける事で青少年の健全育成を図り、国際社会・地域社会更にはロータリアンのリーダーに醸成し、平和でより良い幸福な未来を築く礎となることを支援するロータリーの最も重要な奉仕の一つの部門です。

1. インターアクトクラブプログラム

インターアクト (Interact) はインターナショナル アクション (International Action) の造語です。

1960 年ハロルド・T・トーマス RI 会長は、青少年の秘められた可能性を見出し、青少年の奉仕に対して新たな取り組みを開始。青少年が地域社会に対して積極的に関心を持ち、リーダーとして成長する機会を提供するよう提案した。

1962 年 RI 理事会はインターアクトクラブプログラムを採択しました。

同年 米国フロリダ州メルボルン高校インターアクトクラブを創立。

1963 年宮城県仙台市仙台育英高校インターアクトクラブ創立。

インターアクトクラブはロータリークラブによって提唱されます。インターアクターはプログラムを通じて楽しく意義ある奉仕活動を実施しながらリーダーとしての力を身につけ、友人を増やし、未来に向けて成長しています。(「インターアクト要覧」より)

会員数	世界	国・地域	150 以上	クラブ数	21,010 クラブ	会員数	483,230 人
		2840 地区		クラブ数	16 クラブ	会員数	424 人

の会員が活躍しています。

「青少年奉仕月間 (Youth Services Month)」に因んで

国際ロータリー第 2840 地区ガバナー 豊川 一男

2. ローターアクトクラブプログラム

ローターアクト (Rotaract) プログラムはロータリー アクション (Rotary Action) の造語です。

インターアクトの会員は 18 歳で卒業します。その後 18 歳から 30 歳までの青年男女を対象にロータリークラブが提唱し「地域社会を基盤とするクラブ」と「大学を基盤とするクラブ」があります。2840 地区内のローターアクトクラブは「地域社会を基盤とするクラブ」で構成されています。

ローターアクトの区的は青年男女が個々の能力の開発に当たって役立つ知識や技術を高め、それぞれの地域社会における物質的、あるいは社会的なニーズと取り組み、親睦と奉仕活動を通じて全世界の人々の間により良い信頼関係を推進する機会を提供する事にある。(「ローターアクト定款第 2」より)

更に 2016 年 4 月 RI 規定審議会「ローターアクターが正会員となることを認める件」(16-40) が採択されたことにより、ローターアクターの活動範囲が広がり、ローターアクターがロータリアンと共に奉仕活動や自己の情勢の機会が増えたことは、ロータリーの未来の希望が拡大されました。

会員数	世界	国・地域	160 以上	クラブ数	9,843 クラブ	会員数	226,389 人
		2840 地区		クラブ数	10 クラブ	会員数	75 人

の会員が活躍しています。

3. RYLA プログラム

(Rotary Youth Leadership Awards 「ロータリー青少年指導者養成プログラム」)

RYLA プログラムは 14 歳から 30 歳までの若者を対象に、スキルと人格を養いながら奉仕・高い道德基準・平和といったロータリーの価値観を学ぶ機会を提供することを目的としています。

1959 年オーストラリア・クイーンズランド RC がビクトリア女王の訪問を記念して、10 代の若者たちの交流と文化・教育を中心とした 1 週間のお祭行事が始まりました。(「RYLA の手引き」より)

1971 年 RI 理事会は「ロータリー青少年指導者養成プログラム」として採用しました。

本年度、国際ロータリー第 2840 地区「RYLA」研修会は 2016 年 10 月 1 日・2 日に沼田中央 RC をホストクラブとして、川場村なかのビレッジにおいて、地区内 93 名の若者が集い『共に学ぼう、共に語ろう、今を未来を世界に』をテーマに、様々なプログラムを通して交流が盛大に行われました。

「青少年奉仕月間 (Youth Services Month)」に因んで

国際ロータリー第 2840 地区ガバナー 豊川 一男

4. 青少年交換プログラム

青少年が異文化に接することは、国際理解と平和を推進する最も効果的な方法です。

ロータリーの青少年交換プログラムは、海外の人々と交流し異文化を体験することによって生涯にわたる国際理解の種を播く機会を、多く青少年に提供しています。

学生は他国での生活のあらゆる面を直に学びます。他国の教育制度を体験することによって、学業面でも人間的にも成長を遂げます。さらに異文化出身の学生との親密な交流を通して、受入クラブ・ホストファミリーそして地域社会全体も豊かになります。

「青少年交換プログラム」は 1927 年デンマーク・コペンハーゲンとフランス・ニースでの間で始まりました。その後、第二次世界大戦により中断、1946 年に再開され 1950 年に相互交換型で長期的かつ学問的となった交換は、「ロータリー青少年交換プログラム」の原型へと発展しました。1972 年 RI 理事会は正式プログラムとして推奨しました。（「青少年交換要覧」より）

2840 地区の 2017-2018 年度交換学生

インバンド	短期受入	3 名	長期受入	4 名
アウトバンド	短期派遣	2 名	長期派遣	4 名

インバンド・アウトバンド共に親元を離れ、慣れない海外生活では多くの乗り越えなければならない試練があります。ロータリアンの皆様の友愛の心が最も重要で、子供達の成長を楽しみプログラムを推進していただけますようお願いいたします。

結びに「青少年奉仕」部門はロータリーのみならず、地域社会・世界社会に未来のリーダーを育成するプログラムであり、世界のすべての人々が「幸福な営み」を手に入れるための支援は、私たちロータリアンの重要なミッションです。一人一人のロータリアンが、クラブ単位で、地区単位で、グローバルで活躍されま

すことをお願い致します。

人類に奉仕するロータリー「ROTARY SERVING HUMANITY」

「点から面へ さらに世界へ」—広げよう<友情と奉仕の>和・輪—

※今月は私の好きな「ポール・ハリスの名言」をお休みさせていただきました。

2019-2020 年度 地区ガバナー候補者

ガバナーノミネー・デジグネート決定のお知らせ

国際ロータリー第2840地区
2016-2017年度
ガバナー 豊川 一男
ガバナー指名委員長 安藤震太郎
地区幹事 市村 信也

2017年4月11日、国際ロータリー第2840地区ガバナー指名委員会より、森田高史（伊勢崎RC）を「2019-2020年度ガバナーノミネー・デジグネート」として決定いたしましたことをご通知申し上げます。

2016-2017年度
ガバナー指名委員会 委員長 安藤慎太郎
委員 疋田 博之
委員 本田 博己
委員 竹内 正幸
委員 生方 彰



プロフィール

国際ロータリー第 2840 地区 ガバナーノミニニー・デジグネート

国際ロータリー第 2840 地区 2019-2020 年度 ガバナーノミニニー・デジグネート プロフィール



もりた たかし

森田 高史

(伊勢崎ロータリークラブ)

生年月日：1955年1月4日生

住 所：群馬県伊勢崎市

《職 業》 職業分類 税理士

現 職 森田税務会計事務所 所長

関東コンサルタント株式会社 代表取締役社長

モリタ・マネージメント・センター 代表

《学 歴》 早稲田大学法学部 卒業

《ロータリー歴》

<クラブ> 1987年11月 伊勢崎ロータリークラブ入会

2012~13年度 幹事

2016~17年度 会長

<地 区> 2008~09年度 補助金・奨学金・年次寄付・恒久基金委員会 委員

2009~10年度 副幹事

2010~11年度 補助金・奨学金・年次寄付・恒久基金委員会 委員

2011~12年度 補助金・奨学金・年次寄付・恒久基金委員会 委員長

2012~13年度 補助金委員会 委員長 グローバル補助金委員会 委員長

2013~14年度 補助金委員会 委員長

2014~15年度 補助金委員会 委員長

2015~16年度 補助金委員会 委員長

<その他> ロータリー財団

ベネファクター (2012)

ポール・ハリス・フェロー (マルチプル第7回)

メジャードナー (2015)

米山記念奨学会

米山功労者 (第8回)



新会員セミナー

国際ロータリー第 2840 地区 2017-2018 年度

地区副幹事 古市 和男 (藤岡南)

2017年3月19日(日)に、前橋問屋町センター会館にて、新会員セミナーが開催されました。参加者は、クラブ研修リーダーと入会3年未満の会員を対象に行われました。初めに、豊川一男ガバナーから、ガバナー自身が、ロータリーに入会した時の気持ちの様子や、その後、ロータリー活動を行っていく中での気持ちの変化や、ロータリーの良さなどお話しをして頂きスタートしました。

まずは、本田博己地区研修リーダーから、「ロータリーの基本」と題して、ロータリーの歴史、ロータリーの戦略計画、奉仕の理念、ロータリーの魅力と可能性、ロータリーの目的などをお話し頂きました。まだ3年未満の会員の皆様には、理解に難しい部分もありましたが、休憩した後、フリーディスカッションが用意されていて、本田博己地区研修リーダーと役員の皆様から、参加者の皆様から、ロータリーについて疑問に思ったことなど、Q&A方式でプログラムが進んでいきました。参加者の皆様から、多くの質問が出て、活発で楽しい雰囲気でのフリーディスカッションになりました。

最後に、宮内敦夫地区研修委員から講評を頂き、新会員セミナーが終了いたしました。



「インターアクト台湾研修」報告

2016-2017年度

インターアクト委員会委員長 桑原 志郎

1. 日程 2017年3月23日～26日
2. 訪問RC 国際ロータリー第3490地区 三重中央ロータリークラブ
3. 訪問学校 清傳高校高級商業職業学校 ・ 三重高級中学校
4. 参加者

	インターアクター	顧問教師	ロータリアン	
2840地区	21名	1名	1名	
2560地区	14名		4名	計41名

5. 目的
「次代を担う青少年の健全育成」をテーマのもと、インターアクターの指導・育成は我が国の将来にとって必要不可欠な事です。ますますグローバル化する現代において国際感覚を磨く事も重要であることの認識から海外研修を企画しました。

6. 日程

- 3月23日 台湾へ 市内観光、2840・2560地区IA懇親会
- 24日 清傳高級学校。三重高級中学訪問、ホームスティへ
- 25日 ホームスティ家族、三重中央RCとのさよならパーティー
- 26日 帰国



清傳高級学校にて



忠烈祠にて



空港での歓迎



群馬・新潟の懇親会



士林夜市にて



皆んなで夜市の
マンゴープリンを



三重中央RCと



さよならパーティ



皆んなでPPAP

第6分区 IM 報告

国際ロータリー第2840地区 2016-2017年度

第6分区ガバナー補佐 大塚 慶甫

2月26日、高崎市新町におきまして、第6分区 IM を開催いたしました。

豊川ガバナー・宮内ガバナーノミニーをお招きし、また第6分区の多くの会員の皆様にご参加いただき、盛会のうちに開催することができました。

会員数17名という小さなクラブですが、皆様の温かい友情をもって無事に終了することができましたことに、心より感謝申し上げます。

当日は、記念講話として、「共生社会におけるロータリーの奉仕と仏教の布施」というテーマで、宮内ガバナーノミニーより貴重なお話をいただきました。一切の見返りを求めず施しを行なう仏教の布施にも通ずる「超私の奉仕」について認識を新たにされた講話でした。また、姉妹提携を結んで35周年となった韓国東平澤ロータリークラブとの交流をまとめたDVDの鑑賞を行いました。これからも、草の根の国際交流を継続していきたいと思っております。

ロータリアンとしての誇りを胸に、第6分区の皆様と語り合う素晴らしいIMとなりました。





国際ロータリー第2530地区グローバル補助金

「東日本大震災復興支援プロジェクト・GG1639968」のセレモニーに参加

ロータリー財団委員会 委員長 伊能 富雄（伊勢崎）

2530 地区、グローバル補助金プロジェクトのスタートに当たるセレモニーと報告会及び現地視察に豊川一男ガバナー、森田高史 前、R 財団補助金委員長、伊能富雄 R 財団委員長の 3 名で参加して参りました。

4 月 2 日（日）セレモニーと報告会は、福島県郡山市のホテルにて開催、実施国側として 2530 地区ガバナー、パストガバナーを始め地区役員、郡山北 RC から多数の参加の中、援助国である韓国、台湾、米国、日本からは、3 地区からの出席、このプロジェクトを進める南相馬農地再生協議会、福島大学うつくしまふくしま未来支援センター、及び、福島大学学長より感謝状を頂きました。翌、3 日（月）早朝から一行はバスで移動、2 時間半かけ南相馬市原町、続いて飯館村、飯桶地区の栽培予定個所を福島大学プロジェクトチームによる案内と説明を受けながら現地視察して参りました。このグローバル補助金事業は、

実施国、2530 地区 郡山北 RC

援助国、3650 地区 Seoul NorthRC(韓国)を始め 3710 地区、3500 地区、5280 地区（米国）

2840 地区、2750 地区、2580 地区 調達資金の合計 199,092.00 万ドルの大型プロジェクトとなりました。

プロジェクトの概要は、原子力事故による重大な損害を受けた福島の農村地域の再生復興をめざし、土地利用型作物の油糧作物（菜種）の可能性に着目、地域住民自身の計画と実施により、栽培から加工・販売まで実施できるよう 2 年間をかけ農業開発を行う事にあります。

このグローバル補助金プロジェクトは 2014—2015 年度 2530 地区に、「東日本大震災復興支援事業」として海外の援助国を探し、国内からも援助地区を求める事業提案を森田補助金委員長が積極的に進め、いくつかの事業案もありましたがグローバル補助金として実現に難しいなか、海外からの提案、支援もあり、2530 地区は申請手続きから 22 か月間かかり 2017 年 1 月に R 財団からの承認が得られ、このプロジェクトのスタートとなった経緯があり 2840 地区ロータリー財団、グローバル補助金委員会も支援地区として関心を持っていた事業でした。



南相馬市原町地域の土地改良地の視察

国際ロータリー第 2530 地区グローバル補助金

「東日本大震災復興支援プロジェクト・GG1639968」のセレモニーに参加



セレモニー翌日に福島民報に掲載された新聞記事

支援事業に対して感謝状を受ける
南相馬農地再生協議会より
福島大学より



会長エレクト・次年度幹事研修セミナー開催報告

国際ロータリー第 2840 地区 2017-2018 年度

地区副幹事 林 義行 (高崎)

去る3月11日(土)、12日(日)に「2017-18年度会長エレクト・次年度幹事研修セミナー」を開催致しました。豊川ガバナー、田中ガバナーエレクト、地区研修リーダー本田博己パストガバナーの挨拶、地区役員紹介の後、田中ガバナーエレクトによる国際協議会報告・RI年次テーマが発表され、2017-2018年度イアンH.S.ライズリー会長エレクトの年次テーマ「ロータリー：変化をもたらす」MAKING A DIFFERENCEが発表されました。RI会長エレクトは、地域社会と世界に変化を生み出したいという願い、ロータリーを通じてそれを実現したいと願う人が集まった組織がロータリーだということです。「ロータリーとは何ですか」という問いに、私たちは行動をもって答えます。奉仕を通じて変化をもたらすことが出来ると信じています。と力強く発表されたと説明を受けました。

また田中ガバナーエレクトは、パワーポイントを用いて国際協議会現地の様子をいろいろと紹介してくれました。地区運営方針・地区目標では以下の目標及び数値目標を掲げ、年次テーマを実践する為、地区内46クラブがしっかり友情を育み、クラブの拡大に繋がる質の良い会員が増加することで、ロータリアンは一つしかない地球のあらゆる場所・分野で奉仕(SERVICE)の機会を得ることになると熱い思いを発表されました。



会長エレクト・次年度幹事研修セミナー開催報告

国際ロータリー第 2840 地区 2017-2018 年度

プログラム

<第1日目>

9:00 ~ 10:00	登録・受付
10:00 ~ 10:05	点鐘、国歌及びロータリーソング斉唱
10:05 ~ 10:10	ガバナー挨拶
10:10 ~ 10:15	ガバナーエレクト挨拶
10:15 ~ 10:20	地区研修リーダー挨拶
10:20 ~ 10:30	地区役員紹介
10:30 ~ 10:50	国際協議会報告・RI 年次テーマ
10:50 ~ 11:00	休憩
11:00 ~ 11:50	地区運営方針・地区目標
11:50 ~ 12:10	組織と年間スケジュール、地区予算について
12:10 ~ 13:00	昼食・休憩
13:00 ~ 14:00	地区委員会方針
14:00 ~ 14:30	ロータリー財団について
14:30 ~ 14:45	休憩・移動（分科会会場へ）
14:45 ~ 17:15	分科会（分區別 8 会場）
17:20 ~ 17:50	地区委員会委員長・地区副幹事打合せ
19:00	1 日目の講評、懇親会

<第2日目>

7:00 ~ 8:30	朝食・チェックアウト
8:30 ~ 11:40	点鐘・挨拶、クラブ会長・ガバナー補佐抱負
11:40 ~ 11:45	修了証授与
11:45 ~ 11:55	講評
11:55 ~ 12:00	御礼の言葉、点鐘
12:00	閉会

地区目標

1. RI 会長賞を目指そう
2. 会員増強・退会防止
3. 公共イメージ向上への戦略実践
4. 会員相互において「ロータリアンであることの誇り」の認識の共有

数値目標

会員増強・退会防止（年度末目標）クラブ目標純増 1 割、地区目標 2, 400 名
ロータリー財団寄付 会員 1 人当たり 150 ドル以上
ポリオプラス寄付 会員 1 人当たり 30 ドル以上
米山記念奨学会への寄付 会員 1 人当たり 16,000 円以上

午後は各委員長より地区委員会方針及びロータリー財団についての方針発表がありました。続いて第 1 分区から第 6 分区計 8 分区に分かれて分科会が行われ、各分区ガバナー補佐及び地区研修委員のリードの下「会員増強・退会防止について」「公共イメージ戦略とクラブ奉仕」についての意見交換が和やかにそして活発に行われました。2 日目はガバナー補佐を分科会座長として各会長エレクトの目標や、意気込みを発表して頂きました。前日の懇親会で同期会長、ガバナー補佐ともに盛大に盛り上がったおかげか発表も和やかで力強く行われました。最後に田中ガバナーエレクトのお礼の言葉をもって本セミナーは無事終了致しました。



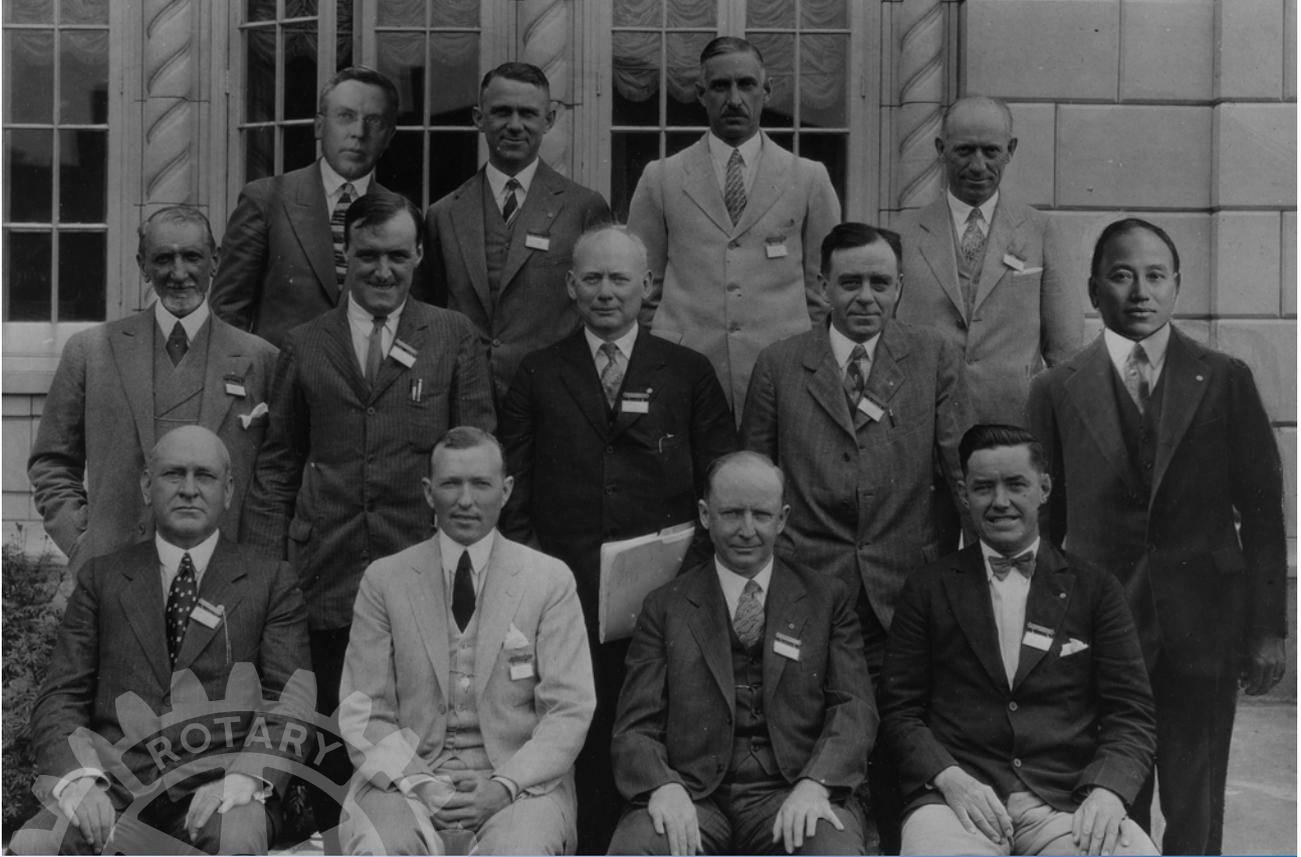
クラブ便り

米山記念奨学生との思い出 ～卒業ピザパーティー開催～

去る3月26日(日)、安中RC矢野薫会員宅にて、安中RCが世話クラブを務める米山記念奨学生、デイビッド チャールス ミングス君とのピザパーティーが開催されました。

デイビッド君は高崎経済大学から一橋大学大学院への入学の為、東京に住所を移すことになりました。お別れを惜しんで矢野会員が多くの知人やロータリアン、また豊川ガバナーにも参加頂き盛大に開催されました。矢野会員宅に新築したピザ窯で焼いた焼きたてピザや、ソバ打ちが得意なご親戚の方の打ちたてソバ、また参加者が持ち寄った料理に舌鼓を打ちながらの楽しいパーティーとなりました。

豊川ガバナーをはじめ、青少年交換留学生、ジャスミンさん、堀口職業・地域社会・国際奉仕委員長、関根青少年交換委員長、古賀地区副幹事、安中RCメンバー、三好幹事、須永会員、小日向会員、川島会員に、碓氷安中ユネスコ協会のメンバー、ユネスコ英会話教師リー先生など多くの方々とあいにくの小雨の中にもかかわらず楽しいひと時をすごしました。デイビッド君も「安中RCの皆さん、2840地区の皆さん、駆けつけて下さった豊川ガバナー、本当に有難うございました。しっかり勉強して、将来は必ず日本とドイツの架け橋になります」と決意を新たにされたようでした。



米山梅吉記念館便り

5月号 米山梅吉の横顔

米山梅吉記念館便り

シリーズ⑨ 米山梅吉の横顔

米山梅吉の青山学院への奉仕は大正5年頃には既に見られますが、何と云っても青山学院初等科の創立で、米山の、整備拡充よりも初等教育の充実を重視する教育論の実践でした。昭和12年に竣工した校舎は全額私財を投じて建設されたもので一切の寄付は仰ぎませんでした。学院が直営の予定でしたが許可が難航し、青山学院小学財団を



青山学院緑岡初等学校正門と校舎

設立、同財団立「緑岡小学校」として発足しました。男女25名づつが入学し、初代校長は米山でした。経営方針は7条あって、「学校後援会、保護者会等の支援団体は認めない」「児童の教育は学校の手によって行う。学校を信じて委されたい」「人にされて嬉しかったことを人にもせよ」等でした。



記念館の月桂樹前にポール・ハリス植樹レリーフを設置
昭和10年来日の際、ポール・ハリスが月桂樹を帝国ホテル前庭にお手植えし、記念館にはその2世が植えられています。

公益財団法人 米山梅吉記念館

〒411-0941 静岡県駿東郡長泉町上土狩346-1
TEL:055-986-2946 FAX:055-989-5101
URL <http://yoneyama-umekichi.jp>
Email: yumh@ai.tnc.ne.jp

【開館時間】午前10時～午後4時
【休館日】月曜日/12月28日～1月4日/整理のための休館日(5月・8月の特定日)

米山梅吉関連図書の紹介



B5判 記念館35周年記念誌
本文268ページ/2,500円

米山梅吉の聲音 記念館刊

米山梅吉の「生い立ちと人となり」「ロータリーとのかかわり」「記念館の歴史」などが詳細に解説されています。

資料編としては、米山梅吉の会議や大会での挨拶や講演、ロータリー月報やラジオ放送の内容なども掲載。記念館所蔵の図書目録、年表など網羅されています。



新会員紹介

国際ロータリー第 2840 地区 2016-17 年度



氏名 高間 春樹
クラブ 前橋西
入会日 2017年1月20日
職業分類 公認会計士
勤務先 高間春樹公認会計士
税理士事務所
役職 所長
推薦者 北澤 俊春



氏名 石井 國雄
クラブ 前橋西
入会日 2017年1月20日
職業分類 ソフトウェア
勤務先 ユニオンシステム (株)
役職 代表取締役
推薦者 金井 修



氏名 大川 義
クラブ 前橋西
入会日 2017年2月3日
職業分類 教育
勤務先 学校法人共愛学園
役職 学校長
推薦者 新井 聡



氏名 高野 由博
クラブ 高崎北
入会日 2017年3月1日
職業分類 薬局
勤務先 有限会社 つばさ薬局
役職 代表取締役
推薦者 梅山 哲・安藤震太郎



氏名 川端 正行
クラブ 伊勢崎
入会日 2017年4月5日
職業分類 一般病院
勤務先 医療法人
上毛会伊勢崎福島病院
役職 事務長
推薦者 森田高史・峯岸則幸



氏名 松原 史明
クラブ 伊勢崎
入会日 2017年4月5日
職業分類 広告代理業
勤務先 (株)エムズコーポレーション
役職 代表取締役
推薦者 山崎裕紀雄・下山 裕



氏名 吉田 雅俊
クラブ 伊勢崎
入会日 2017年4月5日
職業分類 建築資材販売
勤務先 ヨシダ産業 (株)
役職 代表取締役
推薦者 丸橋 幹・下山 裕



氏名 釜谷 邦夫
クラブ 前橋
入会日 2017年4月11日
職業分類 整形外科
勤務先 医療法人
龍邦会東前橋整形外科
役職 理事長
推薦者 栗原 公夫



氏名 丸山 武人
クラブ 富岡
入会日 2017年4月19日
職業分類 損害保険
勤務先 あいおいニッセイ同和損害保険
(株)群馬支店富岡支社
役職 支社長
推薦者 湯井 知昭



氏名 戸澤 俊典
クラブ 館林西ロータリークラブ
入会日 2014年7月1日
退会日 2017年3月15日
享年 59才
勤務先 戸澤俊典税理士事務所
役職 所長

戸澤 俊典君を偲んで

2014年7月に当クラブに入会されまだ2年8か月でした。去る3月18日朝突然の訃報が入り、誰も信じられませんでした。享年59歳という若さでした。1～3月は毎年大変忙しく自分の身を省みず仕事を全うしようと事務所に寝泊まりしていたそうです。責任感も強く仕事に捧げ、地域に貢献奉仕しておりました。常に子供の心を持ち、奇想天外でユーモアがあり、ヤンチャな方でした。酒やタバコが大好きで、そして医者嫌いでした。これからロータリアンとしての活躍が期待されていましたが、本当に悔やまれます。謹んでご冥福の意を表します。合掌

館林西ロータリークラブ 会長 原 義裕



「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万4千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

最近のロータリー情報から

- ◎「ロータリーと茶の心」 千 玄室 2017 4p (D.2690 地区大会記念誌)
- ◎「日本ロータリーの昔話4～7」 深川純一 伊丹 R.C. 2016 4p (純ちゃんのコーナー PartXV)
- ◎「日本のロータリアンの使命」 塚原房樹 2016 2p (D.2510 月信)
- ◎「ロータリー会員から真のロータリアンへの進化」 三木 明 2016 1p (D.2680 月信)
- ◎「ロータリアンにとって『職業奉仕』とは」 藤林豊明 2016 2p (D.2580 地区大会記念誌)
- ◎「ロータリーの魅力とは何だろう」 富田英壽 2017 2p (D.2700 月信)
- ◎「RIの向かっている道(三つの側面を通して)」 桑月 心 2017 2p (D.2630 月信)
- ◎「今までの100年・そして現在」 久世晴雅 2016 4p (D.2680 地区大会記録誌)
- ◎「会員を引き込む」 RLI 日本支部 2015 3p (RLI 参加者テキスト)
- ◎「ロータリー財団を正しく理解する」 鈴木一作 2016 5p

〔上記申込先：ロータリー文庫〕

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 3 階
TEL (03)3433-6456・FAX (03)3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>
開館=午前 10 時～午後 5 時 休館=土・日・祝祭日



出席報告

2017年3月

クラブ数	会員数					
	年度初	月初	月末	純増減会員数	女性会員	当月出席率
46	2,058	2,109	2,104	-5	135	80.26

クラブ名	例会数	出席率 (%)	会員数					
			年度初	月初	月末	増減	女性	
第1分 区	前橋	4	72.41	118	117	117	0	10
	前橋西	4	81.26	56	60	60	0	5
	前橋東	5	86.99	60	58	58	0	5
	前橋北	3	92.34	69	74	74	0	4
	前橋南	4	92.22	32	38	39	1	1
	前橋中央	4	74.21	28	29	29	0	7
	合計		83.24	363	376	377	1	32
	第2分 区 A	桐生	3	82.30	67	68	68	0
桐生南		4	71.00	25	25	25	0	1
桐生西		4	90.46	61	59	59	0	5
桐生中央		5	75.14	22	21	21	0	3
桐生赤城		4	88.82	44	44	44	0	8
合計			81.54	219	217	217	0	23
第2分 区 B	伊勢崎	5	87.77	79	85	85	0	4
	群馬境	5	90.00	21	24	23	-1	1
	伊勢崎中央	4	86.10	80	85	85	0	5
	伊勢崎南	4	77.59	28	29	29	0	1
	伊勢崎東	3	83.84	31	33	33	0	2
	合計		85.06	239	256	255	-1	13
第3分 区	高崎	3	90.55	117	117	116	-1	9
	高崎南	2	73.10	65	69	69	0	7
	高崎北	5	71.84	68	65	66	1	0
	高崎東	5	78.81	38	40	40	0	1
	高崎シンフォニー	4	70.12	42	42	42	0	4
	高崎セントラル	4	68.53	37	36	35	-1	0
	合計		75.49	367	369	369	-1	21

クラブ名	例会数	出席率 (%)	会員数					
			年度初	月初	月末	増減	女性	
第4分 区 A	太田	4	91.43	71	73	72	-1	3
	太田西	4	93.29	17	18	18	0	2
	太田南	4	84.78	43	47	47	0	2
	新田	3	90.73	17	18	18	0	0
	太田中央	3	85.06	54	58	58	0	3
	合計		89.06	202	214	213	-1	10
	第4分 区 B	館林	5	82.00	50	50	50	0
大泉		5	85.20	33	33	33	0	3
館林西		4	81.38	22	22	21	-1	1
館林東		5	70.44	24	23	23	0	3
館林ミレニアム		5	86.82	26	26	26	0	0
合計			81.17	155	154	153	-1	9
第5分 区	渋川	4	94.91	58	61	60	-1	5
	沼田	3	64.05	67	71	71	0	1
	草津	3	42.10	19	19	19	0	1
	中之条	4	79.61	21	21	21	0	1
	沼田中央	5	77.41	59	55	55	0	4
	渋川みどり	4	68.17	38	38	38	0	2
	合計		71.04	262	265	264	-1	14
第6分 区	富岡	4	89.87	46	45	45	0	4
	藤岡	4	78.50	52	53	53	0	3
	安中	4	60.42	44	48	48	0	2
	藤岡北	4	81.24	16	17	17	0	1
	富岡中央	4	92.12	39	39	38	-1	1
	碓氷安中	4	79.55	10	11	11	0	1
	藤岡南	3	71.74	17	18	18	0	1
	富岡かぶら	4	75.92	27	27	27	0	0
	合計		78.67	251	258	257	-1	13

世界遺産 富岡製糸場

所在地 群馬県富岡市富岡 1 - 1
開場時間 09 時 00 分 ~ 17 時 00 分 (最終入場 16 時 30 分)
休場日 年末 (12 月 29 日 ~ 31 日)

富岡製糸場は、明治 5 年 (1872 年) に明治政府が日本の近代化のために設立した模範器械製糸場です。明治維新後、政府は日本を外国と対等な立場にするため、産業や科学技術の近代化を進めました。そのための資金を集める方法として力を入れたのが、生糸の輸出でした。政府は生糸の品質改善・生産向上と、技術指導者を育成するため、洋式の繰糸器械を備えた官営の模範工場をつくることを決めました。こうして富岡製糸場が建設され、現在までほぼ変わらぬ姿で残されています。

富岡製糸場設立の目的とその背景

江戸時代末期、鎖国政策を変えた日本は外国と貿易を始めます。その当時最大の輸出品は生糸でした。生糸の輸出が急増したことにより需要が高まった結果、質の悪い生糸が大量につくられる粗製濫造問題がおきました。諸外国から生糸の品質改善の要求、外国資本による製糸工場の建設の要望が出されました。

明治維新後、富国強兵を目指した政府は、外貨獲得のため、生糸の品質改善・生産向上を急ぎます。しかし当時の民間資本による工場建設は困難な状況であったため、洋式の繰糸器械を備えた官営の模範工場をつくることを決めました。この模範工場の基本的な考え方は主に 3 つでした。1 つ目は洋式の製糸技術を導入すること、2 つ目は外国人を指導者とする、3 つ目は全国から工女を募集し、伝習を終えた工女は出身地へ戻り、器械製糸の指導者とする、ということでした。

こうした考え方をもとに雇い入れられたフランス人、ポール・ブリュナナの指導のもと、西洋の技術を取り入れた官営模範器械製糸場 (富岡製糸場) が設立されたのです。

設立の地に富岡が選ばれた理由

富岡製糸場の設立計画を担当した政府の役人の一人、尾高惇忠とポール・ブリュナらが武蔵・上野・信濃の地域を調査し、次の理由により上野 (こうずけ) の富岡に場所を決定しました。

1. 富岡付近は養蚕が盛んで、生糸の原料である良質な繭が確保できる。
2. 工場建設に必要な広い土地が用意できる。
3. 製糸に必要な水が既存の用水を使って確保できる。
4. 蒸気機関の燃料である石炭が近くの高崎・吉井で採れる。
5. 外国人指導の工場建設に対して地元の人たちの同意が得られた。



国際ロータリー第 2840 地区 ガバナー事務所

〒371-0855 群馬県前橋市問屋町 2-2 前橋問屋センター会館 1F

TEL : 027-212-2840 FAX : 027-212-2841 email : toyokawa@rid2840.jp

ガバナー月信に関して

- 原稿の締切りは、毎月 15 日です。ワードまたはエクセル書式で作成の上、メール添付しガバナー事務所 toyokawa@rid2840.jp まで送信してください。写真等の画像がある場合は、JPEG データでお送りください。
- 新会員情報並びに訃報の締切りは毎月 15 日です。(15日以降のご連絡分につきましては、次月号の掲載となります。) 新会員につきましては氏名、入会日、職業分類、勤務先、役職、推薦者氏名を記入の上、写真を添えて、ガバナー事務所ホームページの専用欄かメールにてお送りください。なお、訃報につきましてはクラブ会長様に 250 字以内で追悼文を作成いただき、ご連絡をお願いいたします。
- この月信の PDF データを印刷して、クラブの第一例会で会員の皆様に回覧いただきたく存じます。よろしくお願いたします。



国際ロータリー第 2840 地区 ガバナー事務所

〒371-0855 群馬県前橋市問屋町2-2 前橋問屋センター会館 1F

TEL : 027-212-2840 FAX : 027-212-2841 email : toyokawa@rid2840.jp

